

令和 8 年 2 月 5 日
 子ども・若者部
 子ども・若者支援課

「世田谷区子どもの権利委員会」第 1 期の調査テーマの決定について

1 主旨

今年度から発足した「世田谷区子どもの権利委員会」（以下、「子どもの権利委員会」と言う。）第 1 期の調査テーマを決定したので、報告する。

2 経緯

令和 7 年 7 月 3 0 日	子ども・若者施策推進特別委員会にて、子どもの権利委員会設置の報告
9 月 1 日	区民委員及び若者委員の委嘱（委員名簿は別紙参照）
9 月 2 日	第 1 回子どもの権利委員会開催 ・子どもの権利や子どもの参加・参画に関する意見交換等
1 0 月 2 8 日	課題共有会議開催（※ 1）
1 1 月 1 1 日	第 1 回子どもの権利委員会調査・検討部会（以下、「調査・検討部会」と言う。）開催（※ 2） ・第 1 期調査テーマに関する意見交換等
1 2 月 9 日	第 2 回子どもの権利委員会開催 ・第 1 期調査テーマの決定
1 2 月 2 2 日	第 2 回調査・検討部会開催 ・調査テーマに基づく調査対象及び手法の検討等
令和 8 年 1 月 2 8 日	第 3 回調査・検討部会開催 ・調査テーマに基づく調査対象及び手法の検討等

（※ 1）課題共有会議…子どもの権利委員会の調査テーマ等を検討する際の参考とするため、子どもの権利委員会、せたホッと、児童福祉審議会、子ども・若者・子育て会議の代表が集まり、各会議体の課題を共有する会議。

（※ 2）調査・検討部会…子どもの権利委員会での議論を踏まえ、個別テーマの調査や、議論を行う会議。

3 第 1 期の調査テーマ

（1）調査テーマ

「子どもの意見や思いの表明について」

（2）内容

子どもの権利条例第 9 条「意見を表明し、参加・参画する権利」の保障の状況について、子どもと大人の認識、理解や、大人による子どもへの関わり方等について調査検証し、子どもの権利の実現に向けた環境整備等に関する提言を行う。

【テーマ決定に至る議論の経緯】

- ・若者委員から、大人に意見を聴いてもらえなかったことや、子どもの意見が否定された際に理由が示されなかったことがあった等のエピソードが示された。
- ・子どもの意見や思いの表明を保障するには、大人が子どもの権利についてどこまで理解しているかを調査検証する必要があること、また、子どもに対しても、どのように大人と対話しているか、どのように自分の意見が反映されているか等についても調査をすべきである、との議論があった。
- ・第1期の今期は、調査手法や子どもからの意見聴取方法の検討等を併せて実施していくことから、調査対象をある程度絞ることとし、本委員会の若者委員と同世代である中高生世代を主な対象に検証を行う。

(3) 対象

主に中高生世代を対象とした関係機関や施策を中心に、調査を実施する。

(4) 方法

- ・子ども・若者部、教育委員会などの取組みを対象に、アンケート等の量的調査とヒアリング調査を組み合わせる。
- ・調査項目や調査手法の検討にあたっては、子どもにとって分かりやすいものとなるよう、子どもから意見を聴き、反映していく。

4 今後のスケジュール（予定）

令和8年	2月	第4回調査・検討部会
	3月	第5回調査・検討部会
	4月5日	第3回子どもの権利委員会
	5月～	子どもの権利委員会を3回程度、調査・検討部会を各月1回程度開催し、調査やフィールドワーク、子どもからの意見聴取などを行い、検討結果を取りまとめる (区への提言は令和9年6月頃を予定)

別紙

■参考 第1期「世田谷区子どもの権利委員会」委員

区分	氏名	所属等	部会委員	備考
学識経験者 (4人)	森田 明美	東洋大学名誉教授	○	委員長
	佐藤 亜樹	東洋大学福祉社会デザイン学部 社会福祉学科准教授	○	副委員長
	高石 啓人	日本大学文理学部 社会福祉学科助教	○	
	中 智美	子どもの権利条約総合研究所 研究員	○	
区民 (2人)	安藤 毅	公募委員	○	9月1日委嘱
	渡部 千尋	公募委員	○	〃
若者 (3人)	遠藤 恵理菜	公募委員		〃
	有本 智香	世田谷区ユースカウンスル		〃
	近藤 結衣子	世田谷区立中学校 生徒会サミット		〃